

## 精神看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 末安 民生 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

精神的な健康の問題を抱えている人を、ただ精神障害者と規定せずに、その人に固有の生活の文脈から理解する。看護師は自らをケアの提供者として最大限に生かしながら、患者と家族にかかわることを学修する。患者と家族の生活史や家族背景、地域の文化や環境が与える要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解する。その理解のために人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団および社会のダイナミクスについて学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

様々な発達段階にある対象の精神の健康および起こりやすい健康問題を理解することで、精神の健康を保持増進するための支援ができる基礎的態度を習得する。そのため人間を、心理社会的および生理的な側面から総合的に理解するために、社会の動向と精神看護の関係やわが国の精神保健福祉制度の機能を理解し、とりわけ長期入院の弊害と閉鎖処遇の課題の解決の方向を考察することができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

### ・到達目標（SBO）

1. 心の健康の概念について説明できる。
2. 精神の健康の定義の歴史的変遷とその考え方を概説することができる。
3. ライフサイクル各期における発達課題と心の危機的状況について説明できる。
4. 精神の障害と疾患論の形成の過程についての考え方を説明することができる。
5. 精神障害を体験する人々の苦しみとそれに耐える生活の現状を理解することができる。
6. 精神障害を社会がどのようにとらえてきたのかの歴史的な背景とその意味を踏まえた問題点を指摘することができる。
7. 現代社会のストレスとその要因と対処の現状を踏まえて、自己の感情活動の具体的な対処方法を検討することができる。

・ 授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/14	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	精神の健康-「ふつう」というものさし ・ 精神の健康と障害の関係、定義と法的変遷について理解することができる
5/21	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	精神の障害の体験 ・ 病的体験の苦痛と苦悩を知り、対話の意義と方法を身に付け、専門職としての感性を養うことができる
5/28	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	人間の心のはたらき ・ 人格と気質、知能、意識、感情と行動、自己と他者の感情の知性について理解することができる
6/4	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	心のしくみと人格の発達-甘えと自己 ・ 傷つきやすい自己の感情に気づき、1人でいられる能力について理解することができる
6/11	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	心の危機とストレス ・ 心的外傷と危機回避の方法と新たな回復のモデルを理解することができる
6/18	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	家族システムとそのダイナミクス ・ 家族関係図からわかる家族機能と家族関係の正と負の機能を知ることができる
6/25	火	1	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	社会のなかの精神科病院 ・ 精神科の救急医療体制と病院や診療所外来、入院後の生活支援と看護の役割を知るとともに、長期入院の弊害を説明できる
7/16	火	2	地域包括ケア講座	末安 民生 教授	看護師のストレスと感情労働 ・ 自分らしさをつくるための感情規範と行動の規則的な構造を知り、活用できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第5版	武井麻子、他著	医学書院	2018
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第5版	武井麻子、他著	医学書院	2018

・成績評価方法

1. 演習への参加態度や講義内容の到達度の形式的評価として、習得度チェックとレポート課題を適時実施する。
2. Portfolio の完成度と利用度を評価する。
3. 定期試験時は、筆記試験をおこなう（多肢選択）。
4. 定期試験 70%と Portfolio 評価（完成度と利用度の評価）30%の合計 100%にて評価をする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前に配布する「授業レジュメ」の空欄を、指定する教科書を用いてまとめた上で授業に臨むこと。各回最低 30 分以上を要する。また、授業中に映写するパワーポイント資料は Webclass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・習得度チェックについては、各自で教科書、資料を用いて解答を確認する。学生の理解度に応じて講義で解答・解説を行う。
- ・提出されたレポートについては、コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 精神看護学

【その他】

各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設け、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影